

森林ボランティア「オホーツクの会」だより

2022年 7月 No.57

第2回 4コマで感じる写真展

みんなで作る写真展 大成功！



5月18~23日、NHK ぎやらりーで「第2回私が見つけた自然 4コマで感じる写真展」を行いました。

今回は、美幌高校写真部6名を含めて、48作品(37名)の出展があり、キツネがヘビを捕らえた瞬間や、同じ地点からの四季の風景などオホーツクの自然を感じさせてくれるものでした。

期間中には延べ173名の入場があり、作品への「いいね！」シールやコメントの貼り出しなど、みんなで作る写真展として成功させることができました。

出展、協力いただいた皆さん、ありがとうございます。 <植村>

第2回 4コマで感じる写真展

たくさんシール・コメントを貼って、見る側もとても楽しかったです。

身近な場所にこんなにたくさんの自然を感じることができました。

来場者の感想より

このような発表の場があるのは素晴らしいことです。続けていただければ…。

すばらしい作品、森に来た気分になりました。自然は美しいですね！

日常生活の中で見過ごしてしまっている自然、今回皆さんの作品を拝見させていただき、生きる強さを感じました。すばらしい写真をありがとうございました。

写真展楽しかったです！シールを貼ったり、感想を書いて貼ったり、作者（？）には会えなくても感動が伝えられて私もうれしいです。開催ありがとうございます。

来場者から「会話ができる楽しい展示会ですね」と言われて、人の輪が広がってほしいと思っていたのでうれしかったです。

会の活動紹介モニターの効果は不明。（止まって見る方が少なかったかな）

スタッフの声より

出品してくれた若者達が、偶然ぎやらりーで会って、自分のテーマ、これからしたいことなどを話し合っていた。二人にいい出会いを提供することができました。

写真内容も玄人はだしのものから庭先の自然を捉えたものなど範囲の広さをうかがえる。

来場者がお気に入りの写真を見ている所に出品者が居合わせ「この空の色は何時頃ですか？」「こんな場所に丹頂鶴がいるの？」などの会話がはずんでいました。チョットいい時間を提供できたかな。

会場に設置した緑の募金、**4,593円**
ご協力ありがとうございました。

第1回 森林づくり塾

小雨 & 寒さ

苗木には好天気？

6月5日（日）、令和4年度第1回森林づくり塾（主催：常呂川FC）がオホーツクの森で14名（含むFC3名）の参加で行われました。

これは、林業体験を通じて森林の持つ役割や森林づくりの楽しさ・大変さを理解してもらいボランティアの輪を広げるために行われているものです。



今回は、過去にカミネッコン植樹してきた苗木が何らかの理由で消失した箇所大きめ（高さ1~2m）のミズナラ苗木を植えました。

続く天候不順（当日も小雨）、異常な寒さの中での作業となりましたが、苗木には好天気（湿り気たっぷり）だったと思われます。

冒頭、常呂川FC所長から「新型コロナ禍で、常呂川FCとしてはほぼ3年ぶりのイベントとなります。無理することなく、ケガのないようお願いします。」とのあいさつを受けて作業開始。

およそ1時間30分程度で予定作業を終了、昼食時にはクマザサ茶（前の週の「森林の魅（味）力を感じよう！」で試飲予定だったもの）をいただき疲労回復？



午後からは、山菜採取を兼ねた森林散策でウド・フキなどのおみやげをゲットしてバスに乗り込みました。

（参加者多数のため氏名省略します）

<小島>

オホーツクの森林づくり

森林散策

草刈り

自然を満喫

6月26日に行われた「オホーツクの森林づくり」、北見地区林業土木協会の方々を含めて17名の参加がありました。

午前中は以前植栽した木の周りの雑草を刈る作業、道具（鎌）を使った作業は初めてで、うまく出来るのか不安いっぱいの中でスタート！

植えられた小さなミズナラを探しながら…見つけたときは感動です。

思ったよりも順調に進むものの、当日は30度を越える猛暑のため汗まみれになりました。



途中、植村さん（師匠？）の指導もあり、鎌使いの腕が上がったような気がします。

午後は展望台からクリンソウ遊歩道を経て古の森までの森林散策、相変わらずの暑さですが森林の中は意外と涼しく歩けました。

葉が白く変色しているツル（マタタビ）があり、葉の裏の小さな花を目立たせるための知恵だそうです。



保育作業に汗をかき、植物の知恵に目を見張りながら、自然を満喫した一日でした。

<大戸>

参加者多数のため氏名省略します。（事務局）

第1回森いく活動

森の家周辺を整備

5月10日（火）、7名の参加により「第1回森いく活動」が行われ、森の家内外の清掃・整理、薪小屋のシート張り替え、平安遊歩道の点検・落枝の片付けを兼ねた樹名板設置などを行いました。

寒風にさらされ、ボロボロでみすぼらしかったシートも見違えるほどに新調（シートは新品ではありません）されました。

その後、樹名板を担いで平安遊歩道へ、「この木♪何の木♪」と看板の樹木をめざしました。

なお、参加者は次の通りです。
【吉田昭、吉田正、小山、長谷川、渋谷、小畑公、小島】

<小島>



なるほどクイズ

(答えは会報のどこかに…)

森林歩きの楽しみの一つにバードウォッチングがあります。

鳥の種類は分からなくても、鳥の声を聞きながらの森林散歩は楽しいものです。

ところで、森林に住む鳥の食べ物は虫や木の実などですが、どのくらいの量を食べるのでしょうか？



中止となりました

悪天候のため、次のイベント等が中止となりました。

5月28日 森いく活動（第2回）

5月29日 森林の魅（味）力を感じよう！



第3回森いく活動

草刈りに汗

第3回森いく活動は、6月14日に11名の参加で行なわれました。

午前中は、オホーツクの森展望台、古の森遊歩道、クリンソウ遊歩道と手分けして草刈り等の整備を行いました。

古の森遊歩道では、ひとかかえ以上もある大きなエゾマツ（直径60cmくらいとのこと）が歩道を塞いでいて、迂回路作りに一汗。

去年は、コロナで手をつけられてなかったため、全体的にササや草が伸びており苦労しました。（作業途中で時間切れのため終了）



歩道に倒れたエゾマツ

午後からは、第1回森いく活動で平安遊歩道等に設置した樹名板を利用した樹木勉強会をFC近藤さんのガイドで行いました。

なお参加者は次の通りです。

【吉田昭、吉田正、小島、長谷川、小林、小原、植村、渋谷、小畑公、土門、小山】

<小山>

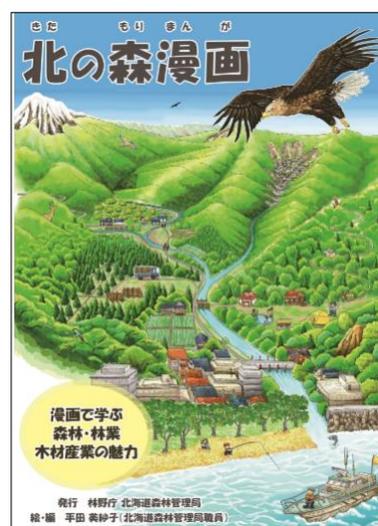
漫画で勉強してネ！

北海道森林管理局と北海道森と緑の会から「北の森漫画」という冊子が発行されました。

林業や森林・樹木のことを漫画にしたもので平田美紗子さん（北海道森林管理局職員）の作品です。

一般の人間にとって、とつても、とつつきづらい林業の世界ですが、漫画だと楽しく読めます。

会として購入し、会員の皆さんに配布することにしました。有効活用をお願いします。



参加しました

フラワーソン 2022

67 種を確認

北見市内に住むUさん（植物、特にシダ・コケ類に詳しく、昨年研修会講師として打診した方）から「6月18・19日に行われるフラワーソン2022にオホーツクの会として参加しませんか？」との要請がありました。

フラワーソンは「フラワー・ウォッチング・マラソン」の略、全道一斉に各地区で咲いている花を探そうという取り組みで、1997年から5年ごとに行われ、今年で6回目、全道でおおよそ500組、3000人が参加しています。



会として、全会員に周知して参加を募るのは難しいことから役員で無理のない範囲とすることとし、FC近藤さんを含めた6名で1グループ、身近な緑ヶ丘森林公園をフィールドとして取り組みました。

結果、67種の花（含むつぼみ、咲き終わり）を確認することができましたが、ハコベ類には、種類の多いことに加え、花が小さくその違いを見極めるのが老眼の身には厳しく、苦労させられました。

さらに追い打ちをかけるかのごとく、集まってくる蚊・蚊・蚊、じっくり観察しないと判別できないし、止まっていると蚊が集まってくるし、もう大変。



ジンヨウイチヤクソウ

森林内は別として、公園周辺の道路脇はほとんどが外来種、考えさせられました。

そして、次回は蚊の少ないフィールドで…。

参加者【吉田昭、小山、植村、渋谷、小島】

<小島>



新型コロナの発生状況等によっては、中止・内容変更になる場合があります。

申込みは、別紙「**申込み用紙**」または**メール**で
h_tokoro_f@maff.go.jp (常呂川 FC アドレス)

○子ども探検隊 (共催：常呂川 FC)

日時 2022年 7月30日 (土) 9:00～

場所 森の家、平安遊歩道

内容 子どもたちと自然の中で楽しみましょう。

持ち物 森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等、

申込み 当日、お手伝いいただける方は7月20日 (火) まで

★子どもたちの参加募集 (先着20名) は別途行いますが、お心当たりの子どもがいる場合はお声がけ願います。

○第5回森いく活動

日時 2022年 8月 9日 (火) 9:30～

場所 森の家集合

内容 森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他

持ち物 作業・森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等

申込み 8月1日 (火) まで

「森いく活動」は5～10月の第2火曜日および必要に応じて実施します。

○山の日記念藻琴山散策会 (主催：常呂川 FC 他)

日時 2022年 8月27日 (土)

北見駅南口プロムナードからバスが出ます

出発 8:30 (受付8:00～)

到着 15:30 (予定)

場所 藻琴山

東藻琴側登山口～頂上～ハイランド725

内容 藻琴山登山・散策を通して山の日趣旨「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を感じる。

持ち物 登山できる服装・装備、昼食、飲み物、マスク等

参加費 200円 (保険料等)

申込み 8月 9日 (火) まで、先着20名

○森林のパネル展（共催：常呂川FC）

日時	2022年 9月 1日（木）～9月11日（日）		
場所	緑のセンター		
	9月 1日（木）	13:30～	展示作業
	2～9日	パネル等展示	
	10～11日	クラフト作成	ミニ散策会
	10日	10:00～15:30	両日とも1日2回
	11日	10:00～15:00	10:30～ 13:30～

申込み 参加・協力できる方は8月29日（月）まで

★クラフト作成等は、午前・午後とも10人程度（一人30分程度）として、氏名・連絡先等を確認（名簿）して行うこととします。

○第6回森いく活動

日時	2022年 9月13日（火） 9:30～	
場所	森の家集合	
内容	森の家周辺の環境整備、「ふれあいの森」活動他	
持ち物	作業・森林散策できる服装、昼食、飲み物、マスク等	
申込み	9月6日（火）まで	

【なるほどクイズ】 答え

日本最大のキツツキ、クマゲラは一日におよそ900匹のアリを食べるそうです。



また、体重16グラムほどのシジュウカラは、乾燥重量で一日に体重の25%にあたる4グラムの食物を食べるということです。

森林に住む鳥のすべてが昆虫（幼虫）ばかりを食べている訳ではなく、木の実や草のタネなども食料にしています。



ただ、ヒナ鳥にはイモムシや毛虫など、栄養豊富な食葉性昆虫の幼虫をエサとして与えています。

シジュウカラは一度に8羽ほどのヒナを育てますから、子育て中の親鳥のエサ探しの労力は相当なものです。

木々に関するつぶやき

【エゾマツ】(クロエゾマツ)

北海道を代表する針葉樹で、北海道の旧名「蝦夷」のマツでエゾマツ。高さ30~40m、太さ1.5mくらいになる。



葉は、堅く先がとがり、触ると痛い。樹皮は黒くうろこ状に薄くはがれる。

アカエゾマツとともに「北海道の木」に指定されている。

会費納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。(退会される方は事務局へ一報願います)



心当たりの方はよろしくお願ひします。

— 納入方法 —

- ・ 総会および会が主催・参加するイベント時に納入
(会報等でご確認ください)
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入
- ・ 会の口座(ゆうちょ銀行)に振り込む(手数料がかかります)
【振込先 店名 九九八 店番 998 普通預金 口座番号 8073231】
森林ボランティア「オホーツクの会」

お問い合わせ



北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
TEL 0157-23-2960 FAX 0157-26-2144